

# 32 和裁 Kimono Making



## 日本の伝統衣装を仕立てる多彩な美を引き出す表現者

日本の伝統衣装の和服を仕立てる競技。9時間という競技時間内に付下げ女子用あわせ長着を制作します。和服は、茶道や華道、踊りなど、日本の伝統文化に不可欠な衣装です。現代でも、日本だけでなく世界中で多くの人に親しまれています。最近では涼を呼ぶ夏の浴衣も若い人に人気です。布地の材質や染色、様々な風合いや色、柄が作られ、普段着から訪問着、礼装着まで種類も多様。それらを仕立てる和裁は、直線的な裁断・縫製ながら多彩な美が表現され、技能者の腕の見せどころが満載の競技です。



### 微妙なつり合いが難しい、厚みの違う2種類の生地をピタリと合わせられるか

競技のポイントは、表地と裏地を合わせるところです。厚さや伸びの違う2種類の生地を微妙なつり合いで合わせなければならず、各選手の技能差が最も出る部分です。全体の縫い目がまっすぐなこと、コテ光り、焼けこげ、しみ、入り針等がないかどうかポイントです。このような和裁の緻密で高度な技術は、日本古来の文化と伝統から生まれた「きもの」とともに、これからの未来に脈々と受け継がれていくことでしょう。

細やかで高度な技術が求められる！



## 競技について

競技時間 2日/9時間

競技は、女物あわせ長着を縫製し、その技を競います。採点項目は、仕様誤り、できばえ、作業態度の3つ。支給される同一の生地を使用し、一部縫製を自宅で行い、会場で仕上げまでを行います。左そでと表身ごろ、裏身ごろ前幅のしるし付け(へら付け)、おくみ付けから仕上がりまで、細かい仕立て寸法にしたがって、素早く作業を進めていきます。



## 競技職種と生活との関わり

成人式や結婚式など、特別な日には欠かせない服であり続けている和服。日本古来の民族衣装である和服は、「kimono」が国際的に通用する言葉となっているほど、ひとつのファッションとして世界に広く認知されています。また、近年は夏のイベントで浴衣を気軽に着る若い人も多く見られます。日常のなかに息づく日本文化として、「和裁」の技能は非常に重要です。世界に誇れる和服の文化が受け継がれていくために、この技能者は大切な役割を担っています。

## 2019年大会の成績

第57回技能五輪全国大会出場時点 / 2019年11月

<b>金</b>	大原和服専門学園	安部 雪菜さん(奈良県)
<b>銀</b>	石田和裁 東亜和裁	荒木 啓衣さん(兵庫県) 三瓶 以杏さん(愛知県)
<b>銅</b>	(株)有樹和裁 東亜和裁	近藤 愛さん(京都府) 細見 愛さん(愛知県)
<b>敢闘</b>	(株)有樹和裁 辻村和服専門学校 東亜和裁 (有)足立和裁研究所 東亜和裁 辻村和服専門学校	中川 ゆみさん(京都府) 石野 晴菜さん(静岡県) 長谷川 彩華さん(愛知県) 安井 里佳さん(京都府) 竹市 真衣さん(愛知県) 伊藤 早紀さん(静岡県)

金賞  
安部 雪菜さん  
大原和服専門学園

チャンスを逃さず  
前向きに上を  
目指してください！

2019年大会  
競技課題



針  
和裁用の縫い針



コテ  
和裁用のアイロン



反物  
おとな用の和服一着分の布